

MBC ラジオ『ここが聞きたい！ドクタートーク』2025.9.6

第 1166 回放送分『肺がん』1 回目

ゲスト：田中 謙太郎ドクター



二見いすず

今月のドクタートークは「肺がん」をテーマにお送りいたします。
お話は、鹿児島県医師会 田中 謙太郎（たなか けんたろう）ドクターです。
田中さん、よろしくお願いいたします。

田中謙太郎Dr.

よろしくお願いいたします。

二見いすず

さっそくですが今日は何についてお話しいただけますか？

田中謙太郎Dr.

今日は始めに、どんな人が肺がんになりやすいのかについてお伝えいたします。
まず肺がんは、がんの中で罹患者数が第2位、そして亡くなる方が一番多い病気です。
70 歳以上の方が6割を占めています。
性別でいうと2対1の割合で男性に多いですが、女性も増えています。

二見いすず

女性が増えている原因として、喫煙する方が増えているということなのでしょうか？

田中謙太郎Dr.

いいえ、実はそうではありません。
男性は喫煙されている方が肺がんになることが多いのですが、女性は喫煙しない方でも多いんです。

二見いすず

そうなんですね。何か原因は分かっているのでしょうか？

田中謙太郎Dr.

はっきりと分かっているわけではないのですが、
大気汚染や女性ホルモンの関係もあるかもしれないと言われています。

二見いすず

男女ともに多い肺がんということですが、
普段の生活で気づくことができる症状は、どんなものがありますか？

田中謙太郎Dr.

咳や息切れ、血が混ざる痰が出ることもあります。
また、だるさを感じたり、食事がおいしくないと感じたりする人もいます。
まれにですが、腰が痛いといって整形外科を受診する人もいます。

二見いすず

腰痛ですか？

田中謙太郎Dr.

はい。肺がんですが転移して腰が痛むという方も、中にはいらっしゃるんです。
「腰痛だろう」とか「風邪が長引いてるんだろう」と
数ヶ月やり過ごしているうちに、がんは進行してしまいます。
一見、肺の病気ではないように思えても、
全身に広がっていくのでそこは注意が必要です。

二見いすず

そうならないためにも、やはり検診は大事ですね。

田中謙太郎Dr.

そうですね。職場などでは検診があると思いますが、
そうでない方も、年に1回は肺のレントゲンを撮るようにしていただきたいです。
症状が出てしまってからでは治療するのが大変です。

二見いすず

肺がんになる方が多いからこそ、「もしかしたら自分も」という意識をもって、
年に1回のレントゲンは忘れないようにしたいですね。

田中謙太郎Dr.

はい。肺がんは、ゆっくり悪くなるがんと、早く悪くなるがんと
大きく2つに分けられます。
レントゲンですべてがわかるわけではありませんが、

見つかると大変助かりますので、
今日は「年に1回レントゲンを撮ること」。これをしっかり覚えていただきたいと思います。

二見いすず

よく分かりました。
今月は、「肺がん」をテーマにお送りいたします。
お話は、鹿児島県医師会 田中謙太郎ドクターでした。
田中さん、ありがとうございました。

田中謙太郎Dr.

ありがとうございました。